

参考資料

## 2014年度中間期 業績の概要

---

2014年11月14日  
ソニー銀行株式会社

# 損益の状況(1):財務会計ベース

## < 連結・単体 >

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

### < 連結 >

- **連結業務粗利益**  
前年同期比2億円減少の118億円。  
主にお客さまの外貨取引が減少したことにより減益。
- **連結経常利益**  
同3億円減少の32億円。
- **連結中間純利益**  
1億円減少の20億円。

### < 単体 >

- **業務粗利益**  
連結同様、お客さまの外貨取引減少を主因に、  
同3億円減少の106億円。  
資金運用収支は、市場金利低下の影響で主に  
有価証券運用に係る利息収支が減少したことから  
減少。
- **経常利益**  
同4億円減少の32億円。
- **中間純利益**  
同2億円減少の20億円。

	<6ヶ月累計>	2013年度 上期	2014年度 上期	前年同期比	
連結	業務粗利益	120	118	2	2.2%
	経常利益	35	32	3	9.1%
	中間純利益	22	20	1	8.8%
単体	業務粗利益	110	106	3	3.2%
	資金運用収支	88	82	5	6.2%
	役務取引等収支	1	3	1	-
	その他業務収支	23	26	+3	+ 13.7%
	営業経費	72	75	+2	+ 3.6%
	業務純益	37	31	6	17.4%
	経常利益	36	32	4	11.9%
	中間純利益	23	20	2	10.3%

当期より、有価証券の金利リスクヘッジに係るコストの計上科目を変更しました。  
そのため、前年同期につきましても、当期と同様に計上した場合の金額を記載しています。

# 損益の状況(2) : 社内管理ベース

< 単体 >

- コアベース業務粗利益は、主にお客さまの外貨取引が減少したことにより、前年同期比5億円減少の90億円。
- 資金利鞘は0.91%と一定の水準を確保。

(億円)

< 6ヶ月累計 >	2013年度 上期	2014年度 上期	前年同期比	
業務粗利益	109	106	3	3.3%
資金収支*1	91	90	0	0.9%
手数料等収支*2	4	0	4	97.5%
その他収支*3	13	15	+2	+15.5%
コアベース業務粗利益(A) = +	96	90	5	5.9%
営業経費等	72	74	+1	+2.5%
コアベース業務純益 = (A) -	24	16	7	31.1%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

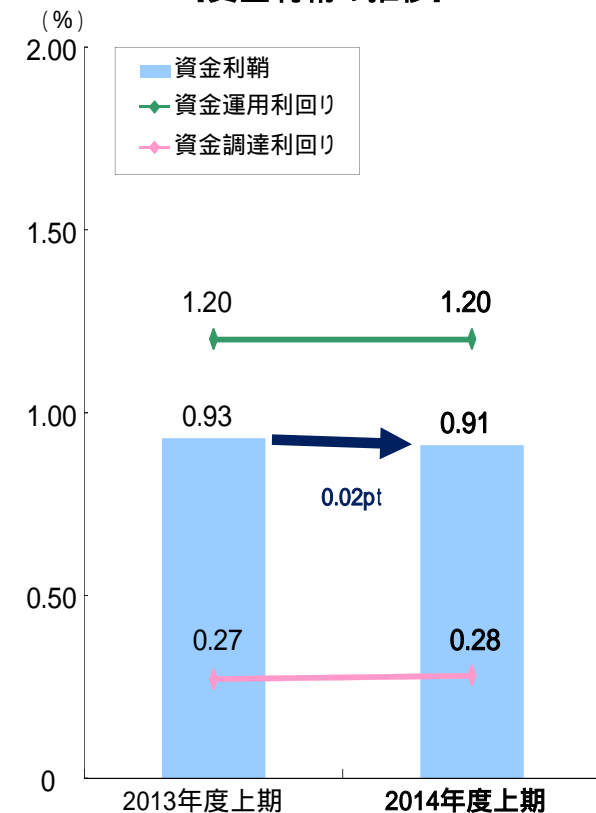
\*1 資金収支... 資金運用収支 + その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)

\*2 手数料等収支... 役務取引等収支 + その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益

\*3 その他収支... その他業務収支より\*1と\*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益

コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

【資金利鞘の推移】



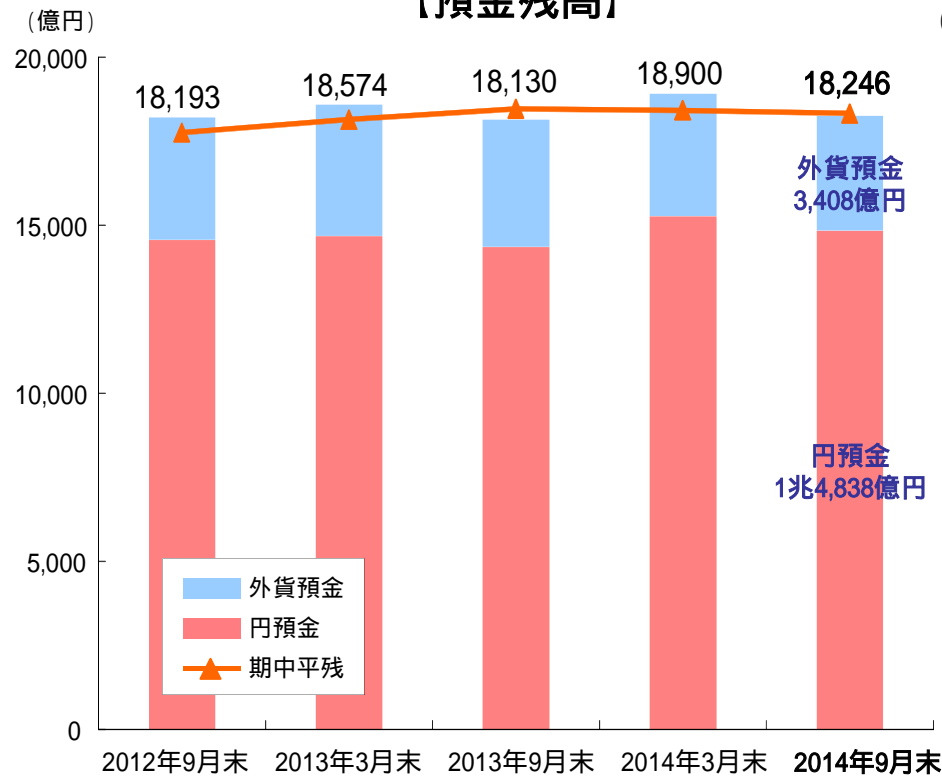
# 預金の状況

< 単体 >

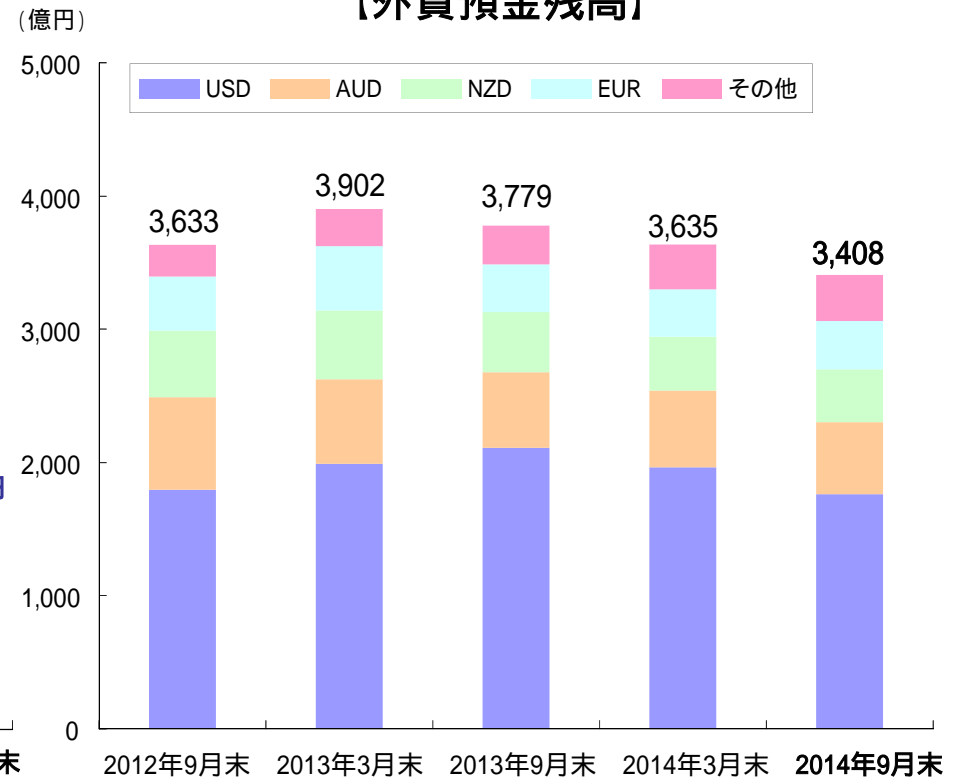
- 預金残高は、円安進行に伴う利益確定の外貨売りが進み外貨預金残高が減少したことなどから、前年度末比653億円減少の1兆8,246億円。
- 2014年9月末の預かり資産残高(預金 + 投資信託)は1兆9,452億円。口座数は101万件。

金額は億円未満切捨てで表示

【預金残高】



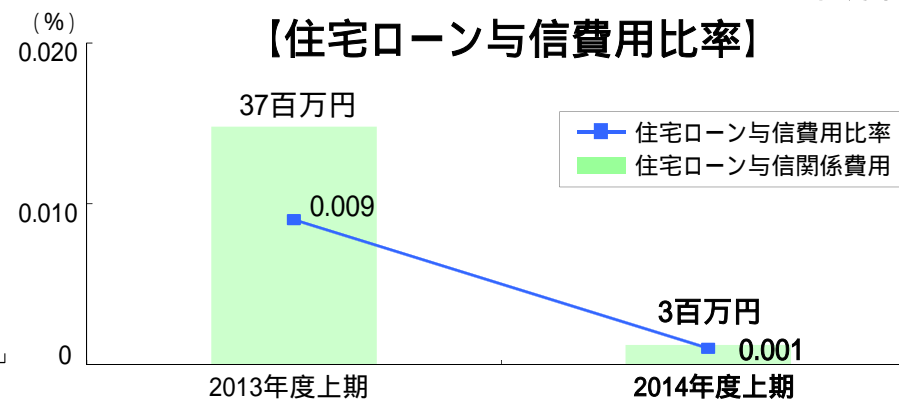
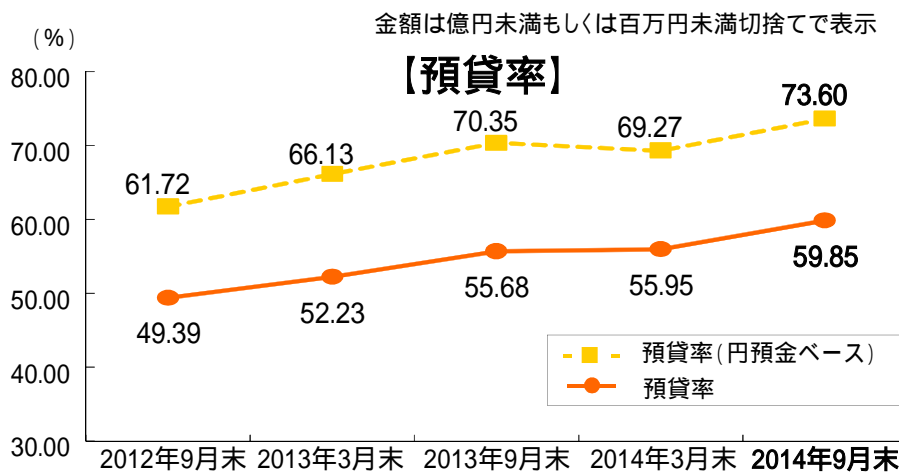
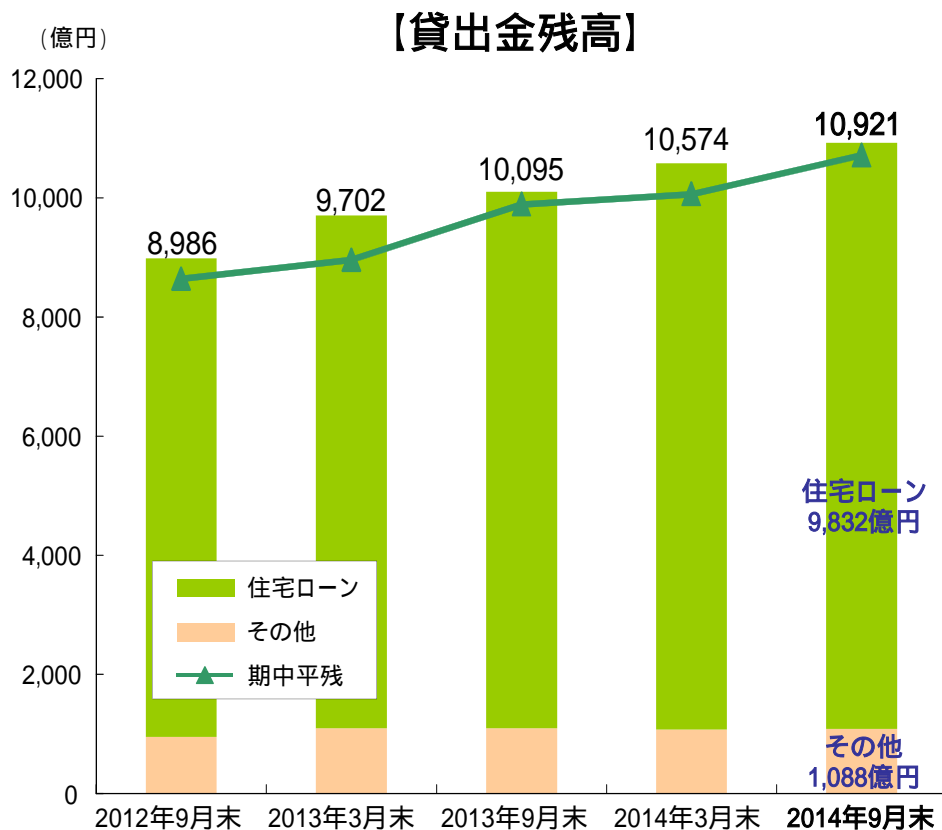
【外貨預金残高】



# 貸出金の状況

< 単体 >

- 貸出金残高は、住宅ローンを中心に前年度末比346億円増加し1兆921億円。預貸率は59.85%と着実に向上。
- 住宅ローン与信費用比率は0.001%と低水準を維持。



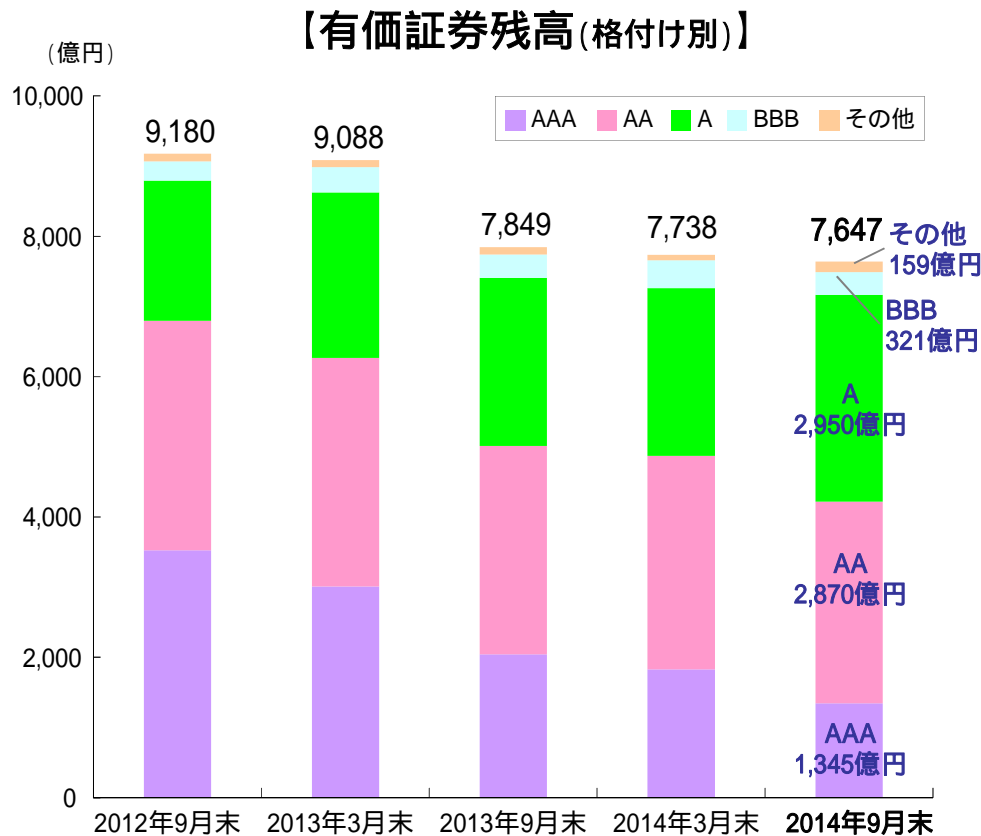
住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残  
 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

# 有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比90億円減少の7,647億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は90億円。

金額は億円未満切捨てで表示



【その他有価証券の内訳】 (億円)

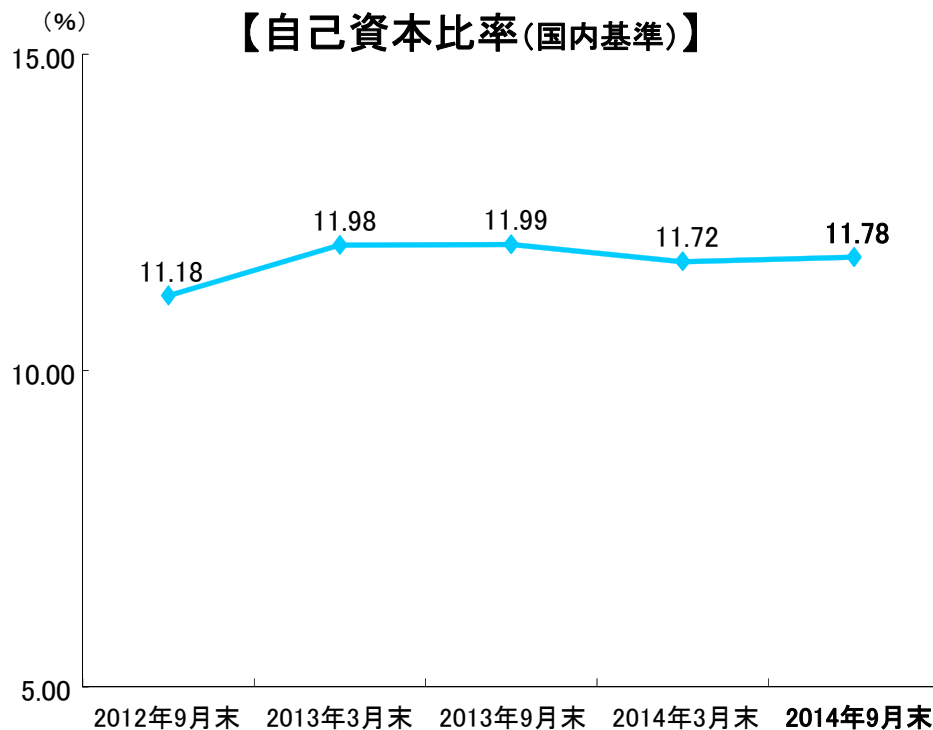
	2014年3月末	2014年9月末
債券	3,047	2,522
国債	888	586
地方債	567	566
社債	1,591	1,369
その他	4,586	5,021
外国債券	4,550	4,982
その他の証券	35	39
合計	7,634	7,544
< その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前) >	< 106 >	< 90 >

時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳。  
 その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)の金額は億円未満四捨五入で表示しています。

# 自己資本比率・格付け情報

<単体>

- 自己資本比率は11.78%と健全な水準を維持。



【格付け(2014年9月末現在)】

<b>スタンダード&amp;プアーズ</b>	
長期カウンターパーティ格付け「A+」	アウトルック「ネガティブ」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
<b>日本格付研究所</b>	
長期発行体格付「AA-」 見通し「安定的」	

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼルⅢベースへ移行。

## 2014年4月以降の主なサービス拡充施策 (2014年11月発表分まで)

### ● 資産運用のための商品・サービスを強化

- ・NISAでもご利用いただけるファンドを積極的に拡充 (2014年6・8・10月)
- ・ソニーコンピューターサイエンス研究所のスマートフォン向け音声読み上げアプリ「Otto-Latte(オトラテ)」へ為替レート情報の提供を開始 (2014年7月)

### ● お客さまの状況に応じたきめ細かな住宅ローンを提供

- ・ソニー不動産株式会社との提携住宅ローンを開始 (2014年8月)
- ・自己資金の割合に応じた金利引き下げ幅の拡大を開始 (2014年8月)

### ● 振り込み・口座振替・ATMなど、決済サービスを拡充

- ・手数料無料で毎月指定の金額を他行からソニー銀行へ自動的に入金する「おまかせ入金サービス」開始 (2014年6月)
- ・振り込み先口座名義の自動表示に対応。他行宛振り込み手続きの利便性を向上 (2014年7・8月)
- ・JCBカードの口座引き落としに対応するなど、口座振替サービスを積極的に拡充 (2014年6・7・8・9・11月)
- ・株式会社イオン銀行とのATM提携開始。提携ATMの台数は全国9万台に拡大 (2014年8月)